(様式5:全対象事業共通)

令和6年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	松江市内の地熱活用による温泉街等地域活性化事業	
補助事業者名	松江市	
補助事業の概要	地熱発電施設の設置及び発電した電気によって温泉水を二次利	
	用するための送水管の整備	
総事業費	327, 239, 700 円	
補助金充当額	327, 239, 700 円	
定量的目標	令和6年度中に玉造温泉地域に地熱発電施設を1つ設置する。	
補助事業の成果及び評価(事	本補助金を活用し、旧玉湯小学校跡地に地熱発電機を設置した。	
業毎にあらかじめ設定した事	なお、半導体不足の影響により、地熱発電機のパワーコンディシ	
業目標を達成したかなど)	ョナー内に設置する部品の調達に時間を要したこともあり、令和	
	7年7月の竣工となった。 また、地熱発電機によって発電した電力を温泉水の汲み上げに活用し、汲み上げた温泉水を二次利用するため、玉造温泉地域への 送水管敷設工事を実施した。	
補助事業の実施に伴い締結さ	契約の目的	地熱発電設備の設置及び送水管の設置を行
れた売買、貸借、請負その他		うもの
の契約	契約の方法	一般競争入札
(※技術開発事業のみ:間接補	契約の相手方	山陰クボタ水道用材株式会社
助を行った場合は、間接補助先	契約金額	327, 121, 300 円
を記載)		
来年度以降の事業見通し	現在、温泉熱の二次利用による農水産業の実施のため、プレーヤ	
	一となり得る事業者にヒアリングを行っており、引き続きヒアリ	
	ング等を実施する。 また、地熱を中心とした再生可能エネルギーの活用策について研究を継続するとともに、地熱発電施設における再生可能エネルギ	
	一及び温泉熱を活用した施設整備について検討する。	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8.で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる 限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。